

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8577
 住 所 川崎市川崎区宮本町1番地
 氏 名 川崎市病院局
 川崎市病院事業管理者 増 田 純 一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎市病院局		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎市川崎区宮本町1番地		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	12,646	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1 事業者全体基本方針

川崎市役所では「川崎市地球温暖化対策推進基本計画（CCかわさき推進プラン）」において「市役所の率先取組の推進」を基本施策の柱として掲げており、その目標の一つとして「2030年度までに市の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を1990年度比で3割以上削減すること」や「再生可能エネルギーの優先的な利用」、「環境に配慮した契約や物品調達等の推進」を掲げている。

但し、市民に直接影響のある施設では、電力需給対策による市民への影響を可能な限り回避するとしている。そのため、事業者全体の基本方針としては、市役所の基本方針に合わせながら、利用者の安全・安心の確保を最優先としたうえで次の方針を中心とした地球温暖化対策を進める。

- (1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。
- (2) 設備等の老朽化に伴うエネルギー消費の増大を防ぐため、法定耐用年数を踏まえた計画的な更新を推進する。
- (3) 設備の導入に関しては、温室効果ガス排出量が少ないものや省エネ効果が高いものを導入するように努める。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。

以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙「組織体制図」のとおり

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	24,502		(実)		
	(調)	24,447	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	23,773		(実)		
	(調)		t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量	(実)	729	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	729 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率	(実)	3.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率			%		%

ウ 目標設定に関する説明

川崎市役所では「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」において「2030年度までに市の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を1990年度比で3割以上削減すること」を目標に掲げている。その方針に合わせて「各所属において2020年度までに温室効果ガス排出量を2008年度ベースで2割以上削減すること」を基本目標とし、その達成に合わせて2008年度実績を基準値にして毎年1.75%づつ削減する目標を設定したが、第3期計画期間における各施設の実績から修正を行った。そして、第4期計画期間においても、各施設の実績を基にした目標設定とした。

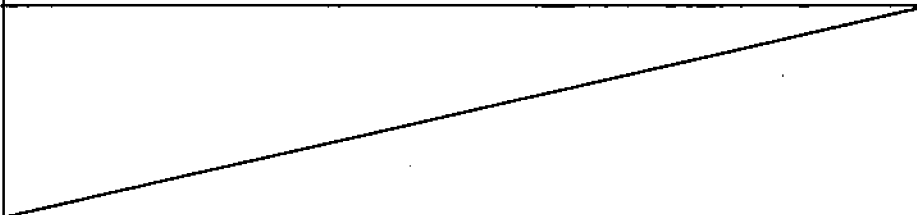
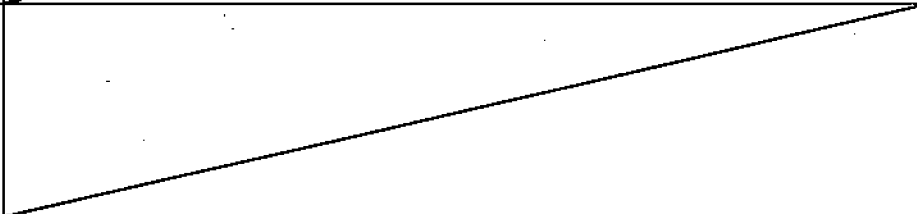
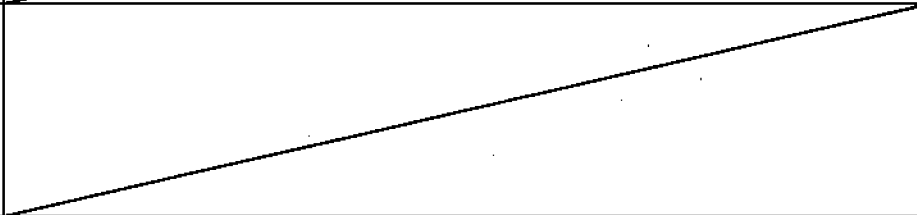
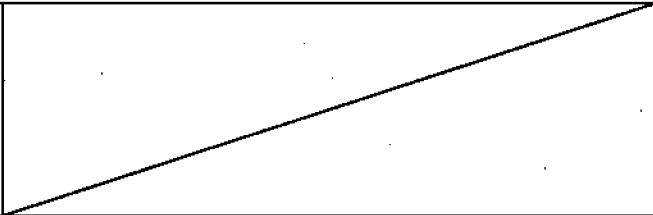
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○川崎病院では、効率的な設備運用を図るため、高効率設備更新の計画を立てながら、定期的な保守点検をおこなっていく。また、令和3年度以降のエネルギー棟の建設に向けて、高効率熱源設備の導入することで、老朽化した熱源設備の更新を行う。</p> <p>○井田病院では、平成30年3月に建築関係の再編工事が完了したことにより、各設備の運用管理を見直したが、今後は空調機器類の更新時期を迎えるにあたり、5か年計画で更新し、エネルギーの効率化を図る。</p> <p>○多摩病院では、排出量削減に向けて、経年劣化による熱源設備の更新計画及び実施を行っていく。また年次計画により、院内各照明LED化工事を継続実施しており、今後も未実施箇所の工事計画を進めていく。</p> <p>○施設共通事項として、利用者に直接影響のない事務室内の昼休み時間等の消灯や、ブラインドの管理及びエアコンの温度設定が可能な場所での冷房28度、暖房20度を徹底し、発熱、消費電力の削減を図る。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>・井田病院では再編整備が完了し、エネルギーが安定化したことにより、全体的な空調運転時間のスケジュールの見直し、温室効果ガス排出削減に向け、主要設備の管理標準を見直した。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	施設整備の設計等の段階で検討し、一部施設においては設置済み。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	【多摩病院】 規模20kW 年間発電量12,868kW(2018年)	平成17年度
太陽光発電設備	【井田病院】 規模20kW 年間発電量24,158kW(2018年)	平成24年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グリーン購入の推進を行う。 2 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	24,502	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

12,646	KL
--------	----

ウ 事業所の数

4

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎市立川崎病院	川崎区新川通12-1	12,407 t-CO ₂
川崎市立井田病院	中原区井田2-27-1	6,218 t-CO ₂
川崎市立多摩病院	多摩区宿河原1-30-37	5,855 t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂